平成 26 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名　アルフレッサ　ホールディングス株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　石黒 傳六
（コード番号2784 東証一部）
問合せ先　取締役 専務執行役員 財務・広報IR担当 三宅 俊一
（TEL：03－5219－5102）
会 社 名　篠 原 化 学 薬 品 株 式 会 社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　篠原 裕一
（非上場）
問合せ先　代 表 取 締 役 社 長　　篠原 裕一
（TEL：088－882－5000）

アルフレッサ ホールディングス株式会社と 篠原化学薬品株式会社の株式交換契約締結のお知らせ

アルフレッサ ホールディングス株式会社（以下、「アルフレッサ ホールディングス」といいます。）および篠原化学薬品株式会社（以下、「篠原化学薬品」といいます。）は、本日それぞれの取締役会において、アルフレッサ ホールディングスを株式交換完全親会社として、篠原化学薬品を株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）を行うことを決議し、本日、両社の間で株式交換契約（以下、「本株式交換契約」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本株式交換は、篠原化学薬品における平成26年2月20日開催予定の臨時株主総会の承認を前提としております。また、会社法第796条第3項の規定により、当社は株主総会の承認を得ることなく簡易株式交換として行う予定です。

記

1．株式交換の目的

アルフレッサグループは、「13-15 中期経営計画 変革への挑戦 ～次なる頂（いただき）を目指して～」において、ヘルスケアコンソーシアムの実現に向けた重点方針として、診断薬卸売事業におけるネットワーク化を掲げ、企業間連携を推進しております。

一方、篠原化学薬品は、高知県および徳島県・愛媛県において診断薬卸売事業を中心とした事業活動を行い、地域医療に貢献しております。

平成25年11月28日、両社は、診断薬卸売事業に係る営業・物流・情報システム・カスタマーサ

ポート等に関する連携強化を目的に、業務提携に関する基本合意書を締結いたしました。その後両社は業務提携に係る具体的な協議を開始しましたが、医療の高度化と医療費増大を背景とした医療費適正化政策が進められる中、診断薬等の安定供給という社会的使命を果たしつつ、地域におけるきめ細かなサービスを拡充すると同時に、広く全国展開されるお客様の満足度のさらなる向上を図るためには、両社の持つ機能の強化、および経営資源の相互活用を加速させるべく両社の経営を統合し、早期に効率的な体制を実現することが最善の策であり、結果として両社にも営業ネットワークの強化、物流の効率化、情報システムの連携等様々なメリットをもたらすものであると判断し、この度、株式交換契約を締結いたしました。

なお、篠原化学薬品は、高知県および徳島県・愛媛県の地域に密着した営業基盤のさらなる強化を、引き続きめざしてまいります。

2. 株式交換の要旨

(1)株式交換の日程

臨時株主総会基準日	平成25年9月30日(篠原化学薬品)
株式交換決議取締役会	平成26年2月 4日
株式交換契約の締結日	平成26年2月 4日
株式交換契約承認臨時株主総会	平成26年2月20日(予定)(篠原化学薬品)
株式交換の効力発生日	平成26年4月 1日(予定)

(注1)アルフレッサ ホールディングスは、会社法第796条第3項の規定により、株主総会の承認を得ることなく簡易株式交換により本株式交換を行います。

(注2)上記日程は、本株式交換手続きの進行に応じ、必要があるときは両社協議の上、変更する場合があります。

(2)株式交換の方式

本株式交換は、アルフレッサ ホールディングスを完全親会社、篠原化学薬品を完全子会社とする株式交換となります。本株式交換はアルフレッサ ホールディングスについては会社法第796条第3項の規定により株主総会の承認を得ずに、篠原化学薬品については平成26年2月20日開催予定の臨時株主総会において承認を受けたうえで、平成26年4月1日を効力発生日とする予定です。

(3)株式交換に係る割当ての内容

会社名	アルフレッサ ホールディングス (完全親会社)	篠原化学薬品 (完全子会社)
株式交換比率	1	15.41

①株式の割当比率

篠原化学薬品の普通株式1株に対し、アルフレッサ ホールディングスの普通株式15.41株を割当交付いたします。

②株式交換により交付する株式数

アルフレッサ ホールディングスは、本株式交換に際して、普通株式585,580株を割当交付いたします。交付する株式については、保有する自己株式585,580株を充当し、新たに普通株式を発行する予定はございません。

本株式交換によりアルフレッサ ホールディングスが篠原化学薬品の発行済株式の全部を取得する時点の直前時（以下、「基準時」といいます。）の篠原化学薬品の株主に対し、割当交付する予定です。

本株式交換により割当交付する株式数は、臨時株主総会基準日現在における篠原化学薬品の発行済普通株式の総数（38,000株）に基づいて算定した株式数であります。

③単元未満株式の取り扱い

本株式交換に伴い、アルフレッサ ホールディングスの単元未満株式（100株未満の株式）を保有する株主が新たに生じることが見込まれます。取引所市場において単元未満株式を売却することはできません。なお、アルフレッサ ホールディングスの単元未満株式を所有することとなる株主の皆様におかれましては、アルフレッサ ホールディングスの株式に関する以下の制度をご利用いただくことができます。

（ア）単元未満株式の買取制度（100株未満の株式の売却）

会社法第192条第1項の規定に基づき、アルフレッサ ホールディングスの単元未満株式を所有する株主の皆様がアルフレッサ ホールディングスに対し、ご所有の単元未満株式の買取を請求することができる制度です。

（イ）単元未満株式の買増制度（100株への買増し）

会社法第194条第1項および定款の定めに基づき、アルフレッサ ホールディングスの単元未満株式を所有する株主の皆様がアルフレッサ ホールディングスに対し、ご所有の単元未満株式と併せて1単元となる数の単元未満株式の買増しを請求することができる制度です。

④1株に満たない端数の処理

本株式交換に伴い、アルフレッサ ホールディングスの普通株式1株に満たない端数の割当てを受けることとなる篠原化学薬品の現株主の皆様に対しましては、会社法第234条その他の関連法令の規定に従い、アルフレッサ ホールディングスが1株に満たない端数部分に応じた金額をお支払いいたします。

（4）株式交換に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

本株式交換により完全子会社となる篠原化学薬品は、新株予約権および新株予約権付社債のいずれも発行しておりません。

3．株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

（1）算定の基礎及び経緯

本株式交換の株式交換比率算定にあたって公正性を担保するため、両社がそれぞれ別個に両社から独立した第三者算定機関に株式交換比率及び株式価値の算定を依頼することとし、アルフレッサ ホールディングスは三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「三菱UFJリサーチ&コンサルティング」といいます。）を株式交換比率の算定、篠原化学薬品は株式会社大和総研（以下、「大和総研」といいます。）を株式価値の算定に関する第三者算定機関として選定いたしました。

三菱UFJリサーチ&コンサルティングは、アルフレッサ ホールディングスの株式価値については、市場株価が存在することから、平成26年1月30日を基準日として、基準日の株価終値、基準日から遡る1週間、1ヶ月間、3ヶ月間および6ヶ月間の株価終値平均の市場株価平均を用いて算定を行うとともに、篠原化学薬品の株式価値については、株式を公開していないこと等から、ディスカウンテッド・キャッシュ・フロー法（以下、「DCF法」といいます。）および類似会社比較法を採用し算定を行いました。各評価方法による篠原化学薬品の普通株式1株に対するアルフレッサ ホールディングスの普通株式の割当株数の算定結果は、下表のとおりです。

採用手法	株式交換比率の算定結果
DCF 法	12.65～17.90
類似会社比較法	11.93～16.36

三菱UFJリサーチ&コンサルティングは、株式交換比率の算定に際して、両社の情報および一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの資料および情報等が、すべて正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性および完全性の検証を行っておりません。また、両社とその関係会社の資産または負債の分析および評価も含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておらず、第三者機関への評価、鑑定または査定の依頼も行っておりません。三菱UFJリサーチ&コンサルティングの株式交換比率の算定は、平成26年1月30日現在までの情報および経済条件を反映したものであり、篠原化学薬品の財務予測その他将来に関する情報については、篠原化学薬品の経営陣により現時点で可能な最善の予測と判断に基づき合理的に作成または検討されたことを前提としております。

また、三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる株式交換比率算定書は、アルフレッサ ホールディングスの取締役会が株式交換比率を決定する際の参考情報として作成されたものであり、両社間で合意・決定された株式交換比率の公正性について意見を表明するものではありません。

一方、大和総研は、篠原化学薬品の株式価値については、株式を公開していないこと等から、DCF法、類似会社比較法を採用し算定を行いました。大和総研は、篠原化学薬品の株式価値の算定に際して、篠原化学薬品の情報および一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの資料および情報等が、すべて正確かつ完全なものであることを前提としており、

独自にそれらの正確性および完全性の検証を行っておりません。また、篠原化学薬品の資産または負債の分析および評価も含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておらず、第三者機関への評価、鑑定または査定の依頼も行っておりません。大和総研による篠原化学薬品の株式価値の算定は、平成26年1月30日現在までの情報および経済条件を反映したものであり、篠原化学薬品の財務予測その他将来に関する情報については、篠原化学薬品の経営陣により現時点で可能な最善の予測と判断に基づき合理的に作成または検討されたことを前提としております。

また、大和総研による篠原化学薬品の株式価値算定書は、篠原化学薬品の取締役会が株式交換比率を決定する際の参考情報として作成されたものであり、両社間で合意・決定された株式交換比率の公正性について意見を表明するものではありません。

なお、篠原化学薬品は、アルフレッサ ホールディングスの株式価値については、市場株価が存在することから、平成26年1月30日を基準日として、基準日の株価終値、基準日から遡る1ヶ月間、3ヶ月間および6ヶ月間の株価終値平均の市場株価平均を用いて算定を行うとともに、篠原化学薬品の株式価値については大和総研から受領した株式価値算定書を参考にし、各評価方法による篠原化学薬品の普通株式1株に対するアルフレッサ ホールディングスの普通株式の割当株数の算定結果を下表のとおりとしました。

採用手法	株式交換比率の算定結果
DCF 法	14.31～19.31
類似会社比較法	10.45～16.94

アルフレッサ ホールディングスでは、三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる株式交換比率の算定結果を参考に、篠原化学薬品では、大和総研による株式価値算定結果をもとにした株式交換比率の算定結果を参考に、両社間で協議のうえ合意に至り、株式交換比率を決定いたしました。

なお、算定の基礎となる諸条件について重大な変更が生じた場合、当該株式交換比率は両社間の協議により変更することがあります。

（2）算定機関との関係

第三者機関である三菱UFJリサーチ&コンサルティングおよび大和総研は、アルフレッサ ホールディングスおよび篠原化学薬品の関連当事者に該当せず、重要な利害関係を有しません。

4. 株式交換の当事会社の概要

	株式交換完全親会社 （平成 25 年 3 月 31 日現在）	株式交換完全子会社 （平成 25 年 9 月 30 日現在）
（1） 名称	アルフレッサ ホールディングス株式会社	篠原化学薬品株式会社
（2） 所在地	東京都千代田区大手町一丁目 1 番 3 号	高知県高知市南御座 9 番 41 号
（3） 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石黒 傳六	代表取締役社長 篠原 裕一
（4） 事業内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具等の卸販売および製造販売並びに輸出入等を行う子会社の管理等	研究試薬、理化学機器および臨床診断薬等の卸販売、福祉介護用品の販売並びにレンタル、居宅サービス、通所介護サービス、調剤薬局等の経営等
（5） 資本金	18,454 百万円	38 百万円
（6） 設立年月日	平成 15 年 9 月 29 日	昭和 24 年 6 月 25 日
（7） 発行済株式数	58,754,400 株	38,000 株
（8） 決算期	3 月 31 日	9 月 30 日
（9） 従業員数	10,939 人（連結）	89 人
（10） 主要取引先	アルフレッサ ホールディングスは、子会社の管理等を行っているため取引先はありませんが、連結子会社を通じての主要取引先は下記の通りです。 ＜仕入先＞ 第一三共㈱、武田薬品工業㈱、アステラス製薬㈱、中外製薬㈱、ノバルティスファーマ㈱ 等 ＜販売先＞ 病院、診療所、薬局、ドラッグストア 等	＜仕入先＞ アボット ジャパン㈱、栄研化学㈱、ライフテクノロジーズ・ジャパン㈱、白十字㈱、積水メディカル㈱ 等 ＜販売先＞ 病院、大学、研究施設、検査所 等
（11） 主要取引銀行	三菱東京 UFJ 銀行、みずほ銀行、 三井住友銀行	四国銀行、高知銀行、愛媛銀行
（12） 大株主および持株比率	ｱﾙﾌﾚｯｻ ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ社員持株会 3.16% 日本ﾄﾗｽﾃｨ・ｻｰﾋﾞｽ信託銀行㈱（信託口） 3.06% 第一三共㈱ 2.68% 福神 邦雄 2.40% 日本ﾏｽﾀｰﾄﾗｽﾄ信託銀行㈱（信託口） 2.05%	篠原 裕一 77.07% 他個人 5 名

(13)	当事会社間の関係	
	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	アルフレッサ ホールディングスと篠原化学薬品の間には、記載すべき取引関係はありません。なお、篠原化学薬品は、アルフレッサ ホールディングスの子会社から診断薬等の仕入、販売をおこなっております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(14) 最近3年間の経営成績および財政状態

決算期	アルフレッサ ホールディングス（連結）			篠原化学薬品（単体）		
	23年3月	24年3月	25年3月	23年9月	24年9月	25年9月
純資産	236,768	244,015	283,956	1,754	1,981	2,150
総資産	1,078,863	1,077,378	1,189,241	2,606	2,812	3,033
1株当たり純資産(円)	4,541.59	4,677.13	5,127.77	46,169.87	52,153.07	56,590.85
売上高	2,183,345	2,333,256	2,387,511	3,871	4,077	3,997
営業利益	9,313	9,377	23,546	265	234	203
経常利益	17,931	18,326	32,279	395	407	277
当期純利益	6,587	6,604	20,771	231	233	174
1株当たり当期純利益(円)	129.69	128.95	389.91	6,100.70	6,133.19	4,587.78
1株当たり配当金(円)	89.00	90.00	93.00	150.00	150.00	150.00

（単位：百万円。特記しているものを除く。）

5. 株式交換後の状況

	株式交換完全親会社
(1) 名称	アルフレッサ ホールディングス株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石黒 傳六
(4) 事業内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具等の卸販売および製造販売並びに輸出入等を行う子会社の管理等
(5) 資本金	18,454百万円
(6) 決算期	3月31日
(7) 純資産	未定（現時点では確定しておりません）
(8) 総資産	未定（現時点では確定しておりません）

6. 会計処理の概要

本株式交換は、企業結合に関する会計基準における取得の会計処理を適用する見込みです。

7. 今後の見通し

本株式交換によるアルフレッサ ホールディングスの連結業績に与える影響は軽微です。

以上

（参考）当期連結業績予想および前期連結実績

アルフレッサ ホールディングス（当期連結業績予想は平成 25 年 5 月 9 日公表分）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期連結業績予想（平成26年3月期）	2,483,000	24,300	33,400	17,600
前期連結実績（平成25年3月期）	2,387,511	23,546	32,279	20,771

（単位:百万円）